

令和6年度における各PCB処理事業の進捗状況について

1. 概況

JESCO 全体として令和6年度のPCB処理事業は順調に進行した。令和6年度末の進捗率は、変圧器類（台）でほぼ100%（99.94%）（対前年度末0.03ポイント増）、コンデンサー類（台）で99.8%（対前年度末0.09ポイント増）、PCB油（t）でほぼ100%（99.998%）（対前年度末0.017ポイント増）、安定器・その他汚染物（t）で99.2%（対前年度末2.11ポイント増）となった。

また、全5事業のうち、北九州、豊田、大阪PCB処理事業の3事業については、令和5年度末をもって全ての処理を終了した。

（1）北九州PCB処理事業

変圧器・コンデンサー等については、平成30年度末で全ての処理を終了している。平成16年12月の処理開始以来、累計の処理実績は、変圧器類：2,823台、コンデンサー類：59,403台である。

安定器・その他汚染物については、平成21年7月の処理開始以来、累計の処理実績は、10,296tとなった。

（2）豊田PCB処理事業

平成17年9月の処理開始以来、累計の処理実績は、変圧器類：2,493台、コンデンサー類：79,136台となった。

（3）東京PCB処理事業

処理対象物が大幅に減少していることに対応し、変圧器、コンデンサーは、事業所が設定する重点搬入期間に搬入し、処理を実施する方針としている。

令和6年度（3月末現在）は、変圧器類4台、コンデンサー類232台の処理を行った。進捗率は、変圧器類がほぼ100%（99.97%）、コンデンサー類が99.8%となっており、順調に処理を進めている。

（4）大阪PCB処理事業

平成18年10月の処理開始以来、累計の処理実績は、変圧器類：2,799台、コンデンサー類：85,340台となった。

（5）北海道PCB処理事業

処理対象物の減少により、変圧器、コンデンサー、安定器・その他汚染物のいずれについても、搬入量見合いでの処理を実施している。

令和6年度（3月末現在）は、変圧器類1台、コンデンサー類126台の処理を行っ

た。進捗率は、変圧器類が 99.81%、コンデンサー類が 99.1%となっており、順調に処理を進めている。

安定器・その他汚染物については、令和 6 年度（3 月末現在）は北海道事業エリア分 26t、東京事業エリア分 425t の処理を進め、進捗率は 98.4%となっている。

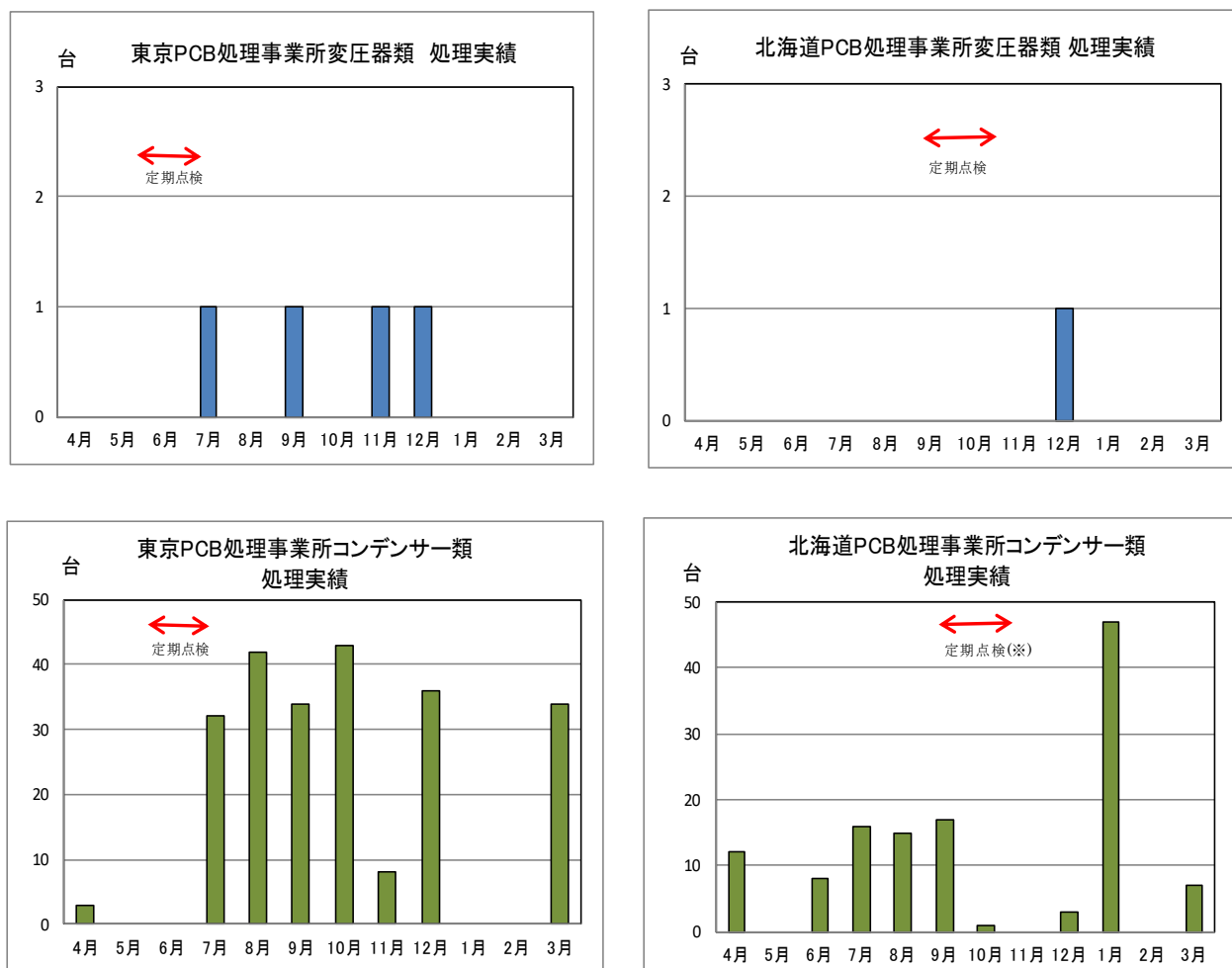
2. 処理実績

令和 6 年度は、操業中の 2 事業所合計で、変圧器類を 5 台、コンデンサー類を 358 台、PCB 油類を 32 本、安定器・その他汚染物を 451 t 処理した。

試運転開始後これまでの処理量の合計は、変圧器類 16,048 台、コンデンサー類 379,426 台、PCB 油類 29,273 本、安定器・その他汚染物 21,230 t である。

各 PCB 処理事業の令和 6 年度月別処理実績を図 1 に示す。

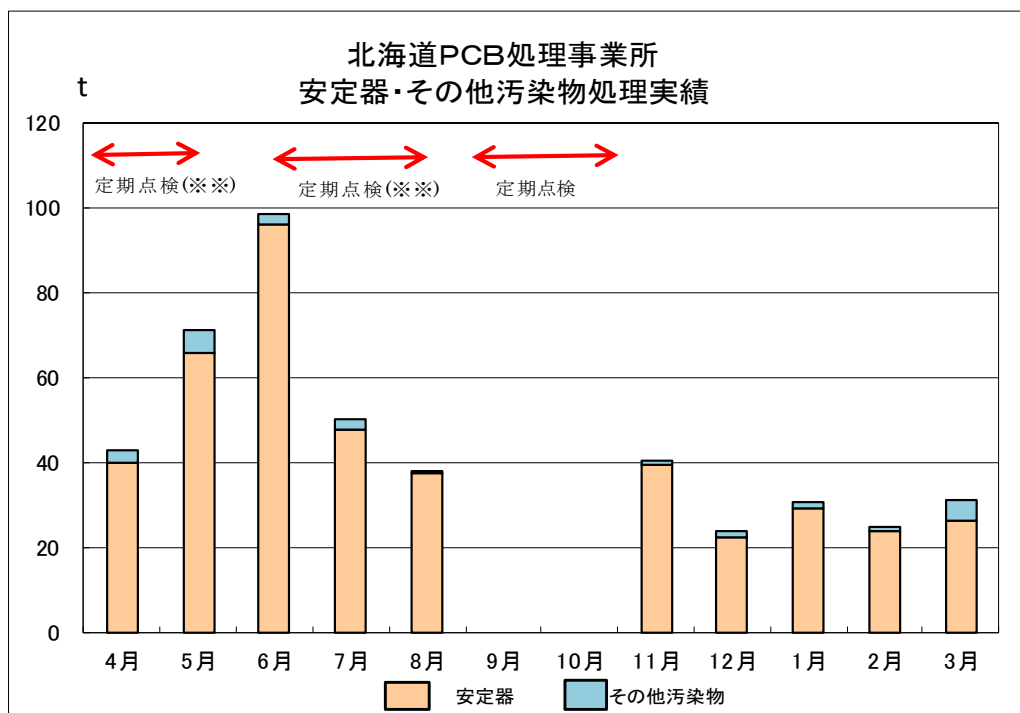
○変圧器類及びコンデンサー類



(※)9/16から10/16までで、その前後は処理を実施。

図 1 令和 6 年度月別処理実績

○安定器・その他汚染物（北海道事業所）



(※※)2基あるプラズマ溶融炉のうち1基は運転中。

図1 令和6年度月別処理実績（続き）